

令和8年度 修学院中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

<京都市の目指す子ども像>

「伝統や文化に学び、次代と自らの未来を創造する子ども」

～3つの姿～

- 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる
- 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
- 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

<修学院中学校ブロック 小中一貫教育目標>

自他を大切にし、自ら考え行動する児童・生徒の育成



<修学院中学校ブロック 目指す子ども像>

- 自ら学びに向かい、目標実現へ粘り強く取り組む子ども（主体性）
- 思いやりを大切にし、お互いを認め合うことのできる子ども（社会性）

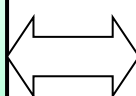
<目指す子ども像>を実現するための軸となる取組

9年間の連続した<キャリア教育>

- 京都・地元を愛する心
- 自分の個性を知る
- 将来を展望しようとする態度

9年間の連続した<道徳教育>

- 自己有用感
- 人権感覚
- 規範意識



教職員の
意識改革・協働

保護者・地域との
連携・協働
外部評価の活用

